

シノビグモ *Shinobius orientalis* (Yaginuma)

【選定理由】

山地の渓流域に局地的に生息するが、個体数は単独や数個体と少ない。県内では生息適地が少なく、治水・河川工事等に伴う生息域の減少や、個体数の減少が心配される。

【形態】

体長 6~8mm。背甲は黄褐色で黒褐色の斑紋がある。腹部上面には黄褐色で黒褐色の複雑な斑紋がある。歩脚は黄褐色で輪紋がある。



北設楽郡設楽町駒が原, 2008年5月13日, 緒方清人 撮影

【分布の概要】

豊田市(旧旭町・旧足助町・旧稲武町)、北設楽郡設楽町(旧設楽町・旧津具村)に分布する。

国内では、北海道、本州、四国、九州に分布する(新海ほか, 2018)。

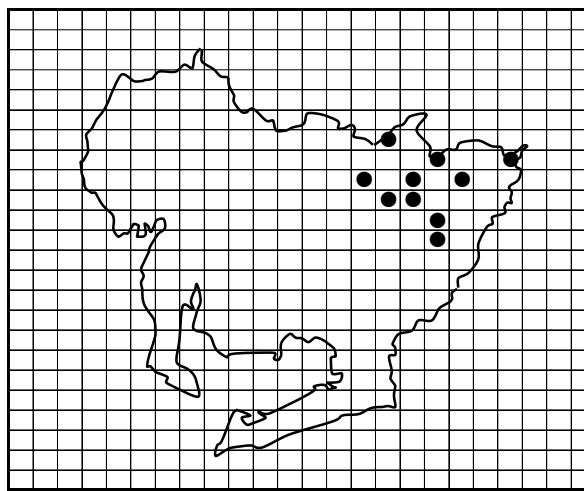
【生息地の環境／生態的特性】

山地の渓流域の水際に生息する。普段は石のすき間に潜んでいる。成体は5月ごろから見られる。主に水生昆虫を捕食する。

【現在の生息状況／減少の要因】

どの生息域においても生息数は単独か数頭と少ない。北設楽郡設楽町裏谷からは、2011年以降記録されていない。生息地の環境悪化や、近年頻繁に繰り返されるゲリラ豪雨も影響していると思われる。

県内分布図



【保全上の留意点】

治水・河川工事の際、生息環境を確保することが肝要である。

【引用文献】

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑. pp.106,237. 偕成社, 東京.
八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑. pp.47,175. 保育社, 大阪.
新海栄一, 2006. 日本のクモ. p.164. 文一総合出版, 東京.
小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, p.241. 東海大学出版会, 神奈川.
小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.323,556. 東海大学出版会部, 神奈川.

(緒方清人)